

## ★ サヤムシガ類(ダイズ) 情報

発生量が平年比多い状況です  
今後の発生動向に注意して下さい

7月中旬に実施した黒ダイズの調査では、**サヤムシガ類(写真)の被害株率、寄生株率はそれぞれ19.5%、8.0%で、いずれも平年比多い発生(表)**でありました。

大阪管区气象台7月20日発表の近畿地方の1か月予報では、「向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または少ない」と予想されており、今後もサヤムシガ類の発生を助長しやすい状況にあると思われます。

これからダイズでは、開花期、着莢期を迎えますが、幼虫が莢内に食入すると防除効果が劣りますので、幼虫ふ化時期～食入開始時期の防除(開花始めから10日間隔で2～3回、カメムシ類との同時防除を考慮)が重要です。

表 黒ダイズにおけるサヤムシガ類の発生状況(7月中旬調査)

年	寄生株率 %	25株当虫数 頭	被害株率 %	25株当被害数 株	発生ほ場率 %
24年	8.0 平年比多い	2.1 平年比多い	19.5 平年比多い	7.3 平年比多い	87.5 平年比やや多い
平年値	3.2	0.8	8.9	3.1	64.7
23年	3.0	0.8	8.0	2.3	87.5
22年	3.0	0.8	11.0	3.5	87.5
21年	2.5	0.6	9.0	3.0	87.5
20年	2.0	0.5	5.5	2.1	25.0
19年	1.5	0.4	3.5	1.0	62.5
18年	9.5	2.5	18.0	7.1	90.0
17年	3.2	0.6	15.2	5.3	90.0
16年	3.6	0.9	13.2	4.9	60.0
15年	3.6	1.0	4.4	1.2	70.0
14年	0.4	0.2	1.6	0.5	10.0



写真 黒ダイズにおけるサヤムシガ類の被害葉(皺り葉、左矢印)と幼虫の寄生状況(右矢印)